



2016年3月24日

報道発表資料

東日本旅客鉄道(株)横浜支社

川崎市

鉄道会社初のCO₂フリー水素エネルギー活用 南武線 武蔵溝ノ口駅で「エコステ」を推進します！

JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術(エコメニュー)を駅に導入する取組み「エコステ」を実施しています。

この度、鉄道事業者で初めて再生可能エネルギー由来の水素(CO₂フリー水素)を活用し、来たるべき水素社会の実現に向けた「エコステ」モデル駅として、南武線武蔵溝ノ口駅の整備を開始します。

JR東日本と川崎市は、2015年1月に締結した包括連携協定に基づき、水素エネルギーの利活用を推進します。

1 武蔵溝ノ口駅での実施内容

(1) 自立型水素エネルギー供給システムの活用

自立型水素エネルギー供給システム※は、平常時は、太陽光発電を活用して水電解装置により水素を貯蔵タンクに蓄え、その水素を燃料電池で発電して駅舎の電源の一部として使用します。

また災害時にライフラインが寸断された場合においても、一時滞在場所で必要となる設備への電源供給が可能となります。

長期・大容量のエネルギー貯蔵に有利な水素の特性を念頭に、駅設備との連携や有効な運用等について、実稼動を通して確認を進めていく予定です。

本システムの稼動開始は、2017年春を目指しています。

※現在、川崎市臨海部の公共施設「川崎市港湾振興会館及び東扇島中公園」で実証運転を行っています。



自立型水素エネルギー供給システム

エコ表示盤

自立型水素エネルギー供給システム設置イメージ

(2) 駅全体として導入を進めるエコメニュー

エコメニュー	主な内容
① 創エネ	自立型水素エネルギー供給システム導入
② 省エネ	照明のLED化、高効率空調機器導入
③ エコ実感	エコ表示盤、エコ待合スペース設置
④ 環境調和	自然素材活用、緑化

エコメニュー全体で、CO₂排出量20%以上削減を目指します。

2 川崎市との連携

- (1) 川崎市は本事業を「川崎水素戦略」のリーディングプロジェクトとして位置付け輸送部門における水素導入の推進に取り組み、水素社会の実現を目指します
- (2) 「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」に基づき、JR東日本と川崎市が一体となってCO₂排出削減を目指します
- (3) JR東日本と川崎市は連携し、駅周辺地域の帰宅困難者の支援を行います

【問合せ先】

川崎市総合企画局スマートシティ戦略室

電話 044-200-2095

